

令和３年度全国学力・学習状況調査結果について

１ 実施日 令和３年５月２７日（木）

２ 調査対象 第６学年児童 ７１名

３ 調査内容

（１）教科に関する調査（国語、算数）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

（２）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

４ 調査結果

（１）教科に関する調査

国語は、全国平均を上回りました。
算数は、おおむね全国平均と同程度でした。

（２）児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 家で自分で計画を立てて勉強していますか。
- 新聞を読んでいますか。

課題が見られた項目

- 友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができますか。
- 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。

５ 学力向上の取組

今回の調査結果では、「話すこと・聞くこと」に関する問題に課題が見られました。本校では今後、次の２点について重点的に取り組んでいきます。

- ・話し合いの中で、多様な考えを発表したり聞いたりするなど、共有する時間を多く設定します。
- ・普段の生活と学習内容のつながりを意識した授業を行います。

６ 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

- ・学年に応じた家庭学習時間の確保と、家庭学習スタンダードをもとにした家庭学習の習慣化

○読書について

- ・家族そろっての読書や新聞を読むことの習慣化

○地域行事等への参加

- ・多くの人とのふれあうことを通して、地域の良さを実感できる機会の設定